

資料4

第五回持続可能性有識者委員会資料
2025年9月9日
サステナビリティ推進部

【議題名】

ESMS(イベントサステナビリティマネジメントシステム)の構築・
ISO20121認証取得に向けた対応状況

2027年国際園芸博覧会協会



1. ESMSとは

ESMSは、イベントの持続可能性を管理するシステムであり、イベントの企画・実施におけるサステナビリティを高め、イベントの評判とブランド価値を向上する

ESMSとは

- Event Sustainability Management Systemの頭文字をとってESMSと呼ぶ
- イベントの持続可能性を管理するためのシステムである
- 国際標準規格ISO20121に準拠する

ISO20121の意義

- ISO20121は、イベントと社会との関係及び社会に及ぼす影響、イベントに対する社会からの期待を認識することを求め、イベントに関連する活動の持続可能性を改善する際の助けとなるよう起草された

2. GREEN×EXPO 2027におけるESMS構築の必要性①

公表資料「サステナビリティ実施計画」にて、AIPHの12の要求の一つである「サステナブルなイベント運営」のアクションとして、ESMSの構築及びISO20121の認証取得を既に明記

11 サステナブルなイベント運営			
食品ロスの削減の推進	食品ロスの削減の推進 ※一般営業出店、Village 出展、テーマ営業出店	11-1-1	ガイドラインの策定・公表
		11-1-2	関係者への周知
		11-1-3	計画の運用・結果取りまとめ
テーマに沿った、音・光のコントロール	テーマに沿った、音・光のコントロール ※一般営業出店、Village 出展、テーマ営業出店、催事参加	11-2-1	ガイドラインの策定・公表
		11-2-2	関係者への周知
		11-2-3	計画の運用・結果取りまとめ
ESMS（イベント・サステナビリティマネジメントシステム）の構築	ESMS（イベント・サステナビリティマネジメントシステム）の構築	11-3-1	ESMS の導入に向けた検討
		11-3-2	ISO20121 の審査機関からの認証取得
		11-3-3	ISO20121 の運用

2. GREEN×EXPO 2027におけるESMS構築の必要性②

公表資料「AIPH規則等（サステナビリティ関係）の要求事項と対応の方向性について」 においても、ESMSの構築を対応方向性の要素の一つとしている

AIPH規則等における要求事項の概要②

分類	要求事項	要求事項の概要
運用	ISO20121※1に準拠したイベント・サステナビリティマネジメントシステムの構築	- 持続可能な博覧会を実現するためのマネジメントシステムの構築 - 国際標準規格であるISO20121の認証取得（推奨）
報告	①プレイイベント・サステナビリティレポートの策定	建設工事と準備段階に焦点をあてた報告書
	②ポストイベント・サステナビリティレポートの策定	博覧会最終報告書及び評価アンケート1の一部となる報告書（気候変動対策、生物多様性の保全、持続可能な調達と資源管理、公平性とインクルージョン、サステナビリティ教育と意識向上等）
	③サステナビリティ及びレガシーレポートの策定	博覧会評価アンケート2の一部となる報告書（気候変動対策、生物多様性の保全等）

3. 大阪・関西万博におけるESMS構築・認証取得

大阪・関西万博では、イベントの開催がSDGsの達成に貢献する姿勢を世界に示すためにISO20121認証を主要イベント及び関連イベントの適用範囲で取得

対象イベント	大阪・関西万博
イベント開催時期	2025年 4月13日～10月13日
ISO認証取得時期	2024年8月13日
ISO認証取得目的	ESMSを活用し、継続的な改善を行うことにより、イベント運営における環境、経済、社会へのプラスの影響を増大、マイナスの影響を低減させるため

持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画について

(行動計画について)

持続可能性への取組はESMS（Event Sustainability Management System、イベントの持続可能性マネジメントシステム）に基づき行う。ISO20121に基づいたESMSでは、

- ①博覧会協会が取り組むべき重要課題と目標を設定し、
- ②各実施主体（部署）が責任をもって取り組む持続可能性の計画を定めて実行し、
- ③取組成果の監視及び評価並びに内部・外部監査、組織のトップによるマネジメントレビューを実施するとともに、
- ④ステークホルダー向けに定期的な報告を行う

というマネジメントシステムを構築する。

ESMSは2023年度から導入し、2024年度にはISO20121の認証を受けている。

2023年3月から、その準備段階として、①②③についての議論、計画の全体像をお示しし、④ステークホルダーへの定期的な報告を行うものとして、行動計画(第1版,第2版,開催前報告書)を毎年公表。

本報告書については、第1版、第2版と同様に公表後一般に意見募集を行う。

©Copyright Japan Association for the 2025 World Exposition, All rights reserved.

4. 認証関連スケジュール

2026年2月～3月の審査実施によりISO20121の認証を取得し、2027年会期中に維持審査を実施予定

